

仕 様 書

この仕様書は、玉城町国民健康保険 玉城病院及び玉城町介護老人保健施設「ケアハイツ玉城」の院内施設清掃について、玉城町国民健康保険 玉城病院(以下「発注者」という。)が受託者(以下「受注者」という。)に委託する清掃業務に関する事項を規定するものである。

当業務は、単に施設の美観維持のためだけではなく、院内(施設)の感染防止及び衛生管理上の観点から極めて重要な業務であることを認識し、患者サービスについても最大限配慮し、玉城町国民健康保険 玉城病院と玉城町介護老人保健施設「ケアハイツ玉城」の運営に寄与することを目的とする。

○業 務 名 玉城町国民健康保険玉城病院及び玉城町介護老人保健施設
「ケアハイツ玉城」院内施設清掃業務

○履行期間 令和8年4月1日 から 令和11年3月31日 まで(3年間)

○業務場所 三重県度会郡玉城町 佐田 地内
度会郡玉城町佐田881番地 玉城町国民健康保険玉城病院
度会郡玉城町佐田881番地 玉城町介護老人保健施設「ケアハイツ玉城」

1. 対象範囲等

当業務に関わる対象範囲・面積並びに実施する業務の頻度等は、別添「清掃作業実施基準表・日常清掃範囲図」及び発注者との打ち合わせにおいて定める。

2. 支払方法

受注者は、発注者に毎月業務完了後、委託料を請求するものとする。発注者は、受注者に請求書を受け取った日から30日以内に委託料を支払いするものとする。

3. 業務内容

一般事項

- (ア) 本件受注者の作業員(以下「作業員」という。)は、常に清潔な制服を着用し、社名を明らかにした名札を付け、言語動作に注意を払い、誠実に作業を行うものとする。
- (イ) 受注者は、作業員全員の氏名・生年月日・住所等を記載した作業員名簿及び健康診断書を提出するものとし、移動の都度速やかに変更届を提出する。
- (ウ) 清掃の実施にあたっては、当仕様を作業員に周知徹底するとともに、別途定める教育を適宜実施するものとする。
- (エ) 清掃の実施にあたっては、使用する資材・消耗品・洗剤等について良質かつ適切なものを選定し、使用するものとする。
- (オ) トイレットペーパー・水石鹼並びに水・電気等の光熱水費は、原則として発注者の負

担とする。受注者は常に節約を心掛け、エネルギーの省力化に努める。

- (カ) 資機材等は、指定された場所に常に整理整頓し、保管するものとする。
- (キ) 清掃作業に必要な器具・材料は受注者の負担とする。
- (ク) 受注者は、作業員の控え室を無償にて使用できる。ただし、常に整理整頓を心掛け、火災その他災害・事故の防止に努めるものとする。
- (ケ) 従事者の駐車場については、発注者の駐車場を有償で貸与する。
- (コ) 火災・水漏れ・停電または不慮の事故等が発生した場合は、監督職員と協議の上、臨機に対応を行うものとする。
- (サ) 作業実施にあたり、鍵の授受が伴う場合は、常にその所在を明らかにし、終了後は確実に返却するものとする。また、長期に渡って業者が鍵を保管する場合は、別途預り証等により、その貸借関係を明らかにするものとする。
- (シ) 業務遂行中に建物・備品等当施設の所有物に異常が発生し、若しくは発生する恐れのある時は、受注者は遅滞無くこれを報告し、協議の上、適切な措置を講ずるものとする。

4. 注意事項

- (ア) 患者(利用者)及び施設職員の妨げとならないよう、合理的かつ能率的に行うものとする。
- (イ) 常に患者(利用者)サービスを心掛け、「患者(利用者)優先」の精神をもって作業を行うとともに、プライバシーの侵害に留意し、機密保持を厳守するものとする。
- (ウ) 緊急時または業務上必要時以外は病室・利用室・診察室・その他施設業務が日常行われている場所には立ち入らない。
- (エ) 雨天時等は、必要に応じてマット等の出し入れを行うとともに、床面の滑りによる事故に留意する。
- (オ) 作業員は、当施設が定める諸規定・指示等を遵守し、それらに違反してはならない。

5. 責任者

- (1) 受注者は、当業務の実施にあたり、常勤の責任者 1 名をおき、業務の円滑な遂行に努めるとともに、監督職員の意見等を適宜業務に反映させるものとする。また、責任者は、基本的に病院清掃について 3 年以上の実務経験を有する者とする。
- (2) 責任者は、業務全般を統括し、監督職員と密接な連携をとるとともに、作業員に対する技術指導及び監督・研修計画の立案・勤務シフトの作成及び労務管理・安全対策及び作業員の健康管理・用具消耗品の管理等を行い、より良いサービスの提供に努めるものとする。

6. 安全衛生

- (1) 作業に伴う安全衛生管理については、関係法令を遵守し行うものとする。
- (2) 衛生管理には特に注意し、感染予防と汚染拡散防止に努める。
- (3) 感染性廃棄物の取り扱いについては、廃棄物の処理及び清掃に関する法律(昭

和45年法律 第137号)に基づいて取り扱うこと。

- (4) 受注者は作業に際して、常に事故防止を心掛け、必要とされる安全措置をとるとともに、適宜作業員に安全教育・健康診断等を実施するものとする。
- (5) 作業場所に第三者が立ち入る恐れのある時は、パネル等で注意を喚起するとともに、危険防止に最大限の努力を払い、事故を防止するものとする。

7. 法令上の責任

- (1) 受注者は、本業務に関連する労働基準法・労働者災害補償保険法等に基づく作業員の補償について、一切の責任を負うものとする。また業者は、作業員の身元・衛生・風紀及び規律の維持等一切の責任を負うものとする。
- (2) 受注者は、医療法第15条の3の厚生労働省令で定める基準に適するとして、一般財団法人 医療関連サービス振興会の医療関連サービスマーク認定事業者・施設データブック(営業種目:院内清掃)に登録(認定)のある者とする。
また、契約時には、医療関連サービスマーク認定証書の写しを提出すること。

8. 実施計画

別途「清掃作業基準表」に定められた年・月・週単位で行う作業については、事前に監督職員に実施計画を書面にて提出し、診療等に支障の無いよう、十分に配慮するものとする。

9. 再委託

受託業務のうち、日常的な清掃業務は再委託してはならない。日常的な清掃業務以外の業務を再委託する場合には、委託者から直接業務を受託したものが、委託者との関係において当該業務に対する最終責任を負うものとする。また、再委託の名称・業務内容について、委託者について事前に十分な説明を行い、その了解を得ること。

10. 経費の負担区分

- (1) 受注者の費用区分
 - ・清掃業務に直接かかる資機材(洗剤・ダスタークロス・モップ・箒・塵取り・バケツ等)
 - ・清掃に直接使用する機械類やカート及び維持費(掃除機・ポリッシャー・吸水機・カート等)
 - ・被服費(ユニフォーム)
 - ・報告書等、清掃業務における内部文書作成費用全般
 - ・労務費(賃金・手当・福利厚生費・教育研修費・交通費・健康診断費等)
- (2) 受注者の費用区分として計上しないもの
 - ・清掃業務時に補充・取り換えする病院内消耗費(トイレトペーパー・手洗い石鹸・手拭ペーパー・手指消毒剤・便座除菌剤・ゴミ袋等)
 - ・各出入口等のマット類

- ・清掃業務に使用する電気・水道費等
- ・病院設備使用による通信費全般
- ・清掃用具用洗濯機及び洗濯機設置に伴う給排水設備設置費等

11. 業務基準

日常清掃

日常清掃は、別紙「清掃作業基準表」「日常清掃範囲・回数図」「ゾーニング図」に明示する箇所・定められた回数・作業内容を、下記の基準に基づき行うものとし、受注者作成の「標準作業書」により、発注者・受注者が作業内容を把握する。

1) 基準清掃

- ① 弾性床材およびフローリング床材は、ダスタークロス等でホコリを舞い上げないように除塵し、マイクロファイバーモップで水拭きする。
- ② カーペット部分の床面は、真空掃除機により除塵する。
- ③ タイル・コンクリートの床面は、箒で拾い掃き掃除を行う。
- ④ 清掃場所において、移動可能な備品等は移動させ清掃を行い、終了後は速やかに現状復旧を行う。
- ⑤ 清掃用具・洗剤や除菌剤は適切に使用・管理し、業務を行う。なお、清掃用具・清掃方法はカラーゾーニングの分けを守り使用する。
- ⑥ 多人数が触れる多接触面（ドアノブ・レバー・スイッチ・机・イス・手摺り等）については、特に接触感染防止に留意し、除菌洗剤をスプレーしたマイクロファイバークロスにより除菌拭き上げを実施する。（感染防止対策）
- ⑦ その他、感染防止対策としてマスクの着用や、必要な場所毎のグローブ着用、作業入り・退出や作業変化の都度の手洗い・手指消毒を必ず実施する。（標準予防策の実施）

2) 便所・洗面所清掃

- ① 床面は適正洗剤を使い、マイクロファイバーモップで水拭きを行う。
- ② 便器・洗面台等の陶器類は、消毒・防臭及び汚れの除去効果のある洗剤で洗浄する。
- ③ 鏡及び金属部分等は、適正洗剤で水拭きする。その際、固く絞って拭き上げることで、水垢を残さない。
- ④ 多数の手が触れる場所については、除菌剤を使用し拭き上げる。
- ⑤ トイレtpーパー・手洗い石鹸等の消耗品を適正補給する。
- ⑥ 汚物入れの内容物を回収する。

3) 玄関・エントランス・待合・廊下・階段

- ① 玄関マットの吸塵を行う。
- ② 手が届く範囲の手摺・ドアノブ・スイッチ類は、固く絞ったマイクロクロス等に除菌剤を使用し拭き上げる。
- ③ 床面は基準清掃による。

4) 病室

- ① 床面はダスタークロスにより静かに除塵し、マイクロファイバーモップにより水拭きを行う。
- ② ドアノブ・スイッチ・椅子等備品は、除菌剤により拭き上げる。
- ③ ベッド等、患者に直接触れる可能性のある物については、清掃範囲外とする。
- ④ ベッドメイクは含まないものとする。
- ⑤ 病室の清掃は、病院運営の妨げにならないように気を配り作業を行う。
- ⑥ 院内感染防止のため、看護師長又は病棟看護主任の指示に従い、除菌剤を適正に使用し清掃を行う。作業の前後は、必ず手指消毒を行う。
- ⑦ 患者私物は原則触らないこととする。患者私物で移動の必要がある物については、病院スタッフの協力を得て、患者等とのトラブルとならないよう行う。
- ⑧ 作業前にナースステーションにて、必要な情報(退院予定・感染患者の有無等)を打合せの上、作業にあたる。
- ⑨ 感染患者病室の清掃については、看護師の指導の下、適切な標準予防策を講じたうえで作業に入ることとし、空気感染の恐れのある場合等、清掃員に高い感染リスクの伴う場合は、看護師と相談の上で病室清掃業務を行わないこととする。
- ⑩ 消毒業務は含まないものとする。
- ⑪ 病室の窓ガラス、敷居を適時清掃実施する。
- ⑫ 退院後の清掃についてはベッド・床頭台テレビ・冷蔵庫・風呂・トイレ・棚の清掃を含む。
- ⑬ 個室の風呂・トイレ・流しを含む。

5) 診察室等

- ① 床面はダスタークロスにより静かに除塵し、マイクロファイバーモップにより水拭きを行う。
- ② ドアノブ・スイッチ類は、除菌剤により拭き上げる。
- ③ 医療機器等には一切手を触れないこととする。
- ④ デスク上や棚等の書類には一切手を触れないこととし、清掃上必要な場合は、医療スタッフに移動を依頼する。
- ⑤ 病院業務に支障をきたさないよう注意を払う。

6) ゴミ回収

- ① 各清掃範囲及び決められた共用ゴミ箱の一般廃棄物について、専用カートで回収し、廃棄物集積所へ搬出する。
- ② 感染性廃棄物については発注者の医療スタッフが行う。また、一般廃棄物内に感染性廃棄物が混ざっていた場合については、清掃作業員は、速やかに医療スタッフに報告する。
- ③ 廃棄物の回収については、清掃作業員は防護用の鋭利な物を通しにくいゴミ回収手袋を使用し、ゴミの中に無暗に手を入れたりせず、内容物を取り出す場合は金バサミを使用するなどし、針刺し事故防止にも注意する。

定期清掃

定期清掃は、別紙「清掃作業基準表」に明示する箇所・定められた回数・作業内容を、下記の基準に基づき行うものとし、受注者作成の「標準作業書」により、発注者・受注者が作業内容を把握する。

1) 床面洗浄・ワックスがけ

- ① 作業場所を確保する。
- ② 什器・備品を移動する。
- ③ 真空掃除機で吸塵、またはダスタークロスで除塵する。
- ④ 壁面等汚れが付着しないように、必要な個所は養生する。
- ⑤ 洗浄剤を塗布しつつポリッシャーで洗浄する。
- ⑥ 汚水を回収し、床面をモップで水拭きする。
- ⑦ 乾拭きをし、床面を完全に乾燥させる。
- ⑧ 樹脂ワックスを塗布する。
- ⑨ 送風機によりワックスを乾燥させる。
- ⑩ 完全に乾燥できたら、養生をはがし什器・備品を元に戻す。

2) ガラス清掃

- ① ガラス用ウォッシャーにより洗浄する。
 - ② 必要な個所については専用クリーナーやガラス用ケレンで汚れを除去する。
 - ③ ガラス用水切り(スクイジー)で水分を除去する。
 - ④ クリーンパット・ウエス等でガラスの角やサンを乾拭き仕上げする。
- ※全館ガラス清掃時にブラインド清掃も含む。

3) エアコンフィルター清掃

- ① 天井埋込式エアコンのフィルターを取外し、中性洗剤により洗浄する。
- ② 天日干しにて乾燥させた後、取り付ける。

4) 病室トイレ換気扇清掃

- ① トイレブース内の天井埋込式換気扇のカバーを外し、内部を拭き取り清掃。
- ② 外したカバーを洗浄した後、乾燥させてから取り付ける。

5) 浴室高圧洗浄

- ① タイルを適正洗剤で洗浄後、高圧洗浄機で洗浄する。